

# 目 次

まえがき	7
1. 南部の経済・社会的特徴	9
若干の経済的特徴	10
稲作と果樹栽培—南部の主要経済類型	10
南部の強み—丘陵地から海岸に至る、森林に満ちた各種林産物の活用	12
海洋経済の早期発展、特に沿岸漁業	12
南部経済発展の「開放的」性格	13
若干の社会的特徴	14
南部の特色—各民族の融合とコミュニティ	15
大規模かつ急速な都市化	17
南部人のパーソナリティ	20
跪いて生きることをせず、常に抑圧勢力と闘ってきた	21
2. 17世紀から19世紀の南部における経済と文化的交流	27
3. 南部の大貿易港	47
1) 港町クラオフォー（浦島—劬勞浦）	47
2) 港町ベンゲー（漣嶺）	50
3) 港町ハティエン（河僊）	54
4) 港町ミトー（美湫）	56
5) 港町バタック<波忒>（パイサウ<罷敲>）	58
4. モソアイ（毎峴）開拓者としての公女玉萬（ゴック・ヴァン）	69
1) 南部の突端—モソアイ（毎峴）—	69
2) 公女玉萬（ゴック・ヴァン）とモソアイ（毎峴）	71
玉萬皇后とモソアイ（毎峴）地の開放	72
モソアイ（毎峴）地域の安定と発展に関わる玉萬太后	75
5. メコンデルタの形成過程	83
1) ベトナム人到来以前のメコンデルタの状況	84
メコンデルタの形成過程および自然環境	84
扶南人とクメール人の開拓者	84
2) メコンデルタ開拓におけるベトナム人の役割	87
メコンデルタにおけるベトナム人の役割	87
阮朝封建国家の開墾方針	90
メコンデルタにおける「ベトナム化」の過程	94
6. 17世紀から18世紀にかけてのミトー（美湫）における商品経済の発展	99
1) 古きミトー（美湫）の概観	99
2) 17世紀から18世紀にかけてのミトー（美湫）の商品経済	101
7. ハティエン（河僊）に記された鄭家（マク家）の遺跡	113
1) 混乱期の離郷	113
2) 新しい故郷の建設	113

3)	その印は千代万代の末まで色褪せない	115
	数世代にわたって建造し、保護した河僊の町 [鎮]	115
	招英 (チエウアイン) 閣の詩塊	120
	屏山 (ピンサン) - 平穏な場所	122
8.	アンザン (安江) 地にある夫婦山	131
1)	夫山 (チョンソン) - 瑞山 (トアイソン)	131
2)	妻山 (ヴォーソン) - 永濟山 (ヴィンテーソン)	132
3)	当手を振り返る	134
4)	夫唱婦隨	136
5)	天地の間に記念碑を建て、後世の人々の心に刻む	138
9.	南部開拓過程におけるタイニン (西寧)	143
1)	大越に統合されたタイニン (西寧)	143
2)	タイニン (西寧) - 南部の豊かな地域	147
10.	バクリエウ (北遼) の概観	157
11.	塘中 (ダンチョン 広南国) 仏教の二つの条件	165
1)	1558 年、阮潢 (グエン・ホアン) が黎英宗帝 (レー・アイン・トン) により瑞郡公に封ぜられ、南部の辺境の地である順化 [フエ] に派遣された	165
2)	17 世紀の初頭、順化 [フエ] において阮潢 (グエン・ホアン) は、仏教崇拝のために、寺院を建立した	168
3)	仏教がベトナムへ伝播した時、仏教はベトナムの習慣と伝統、伝統的な倫理に一致し、北属期の民衆の精神的解放の期待に応えたことで、人々に歓迎された	172
4)	戦争は両刃の剣であり、仏教の隆盛を促進する場合も、衰退させる場合もあった	175
12.	17 世紀から 19 世紀におけるバクリエウ (北遼) 各寺院の理解に向けて	179
1)	クメール人の南宗 (上座部) 仏教	179
2)	華人の北宗仏教	182
3)	ベトナム人の北宗仏教	183
13.	ティック・ティエン・タイン [釋善誠] 上座 - 伝統的な仏教音楽と縁を有する僧侶	189
14.	南部の経師儀礼音楽 - 創造性の高いベトナムの伝統文化	195
1)	経師儀礼音楽はベトナム南部人の伝統文化の一つである	195
2)	経師儀礼音楽 - 南部における文化複合の創造性	196
15.	「媽祖」節 - 南部華人の天后崇拝の起源	201
16.	東南部への南進過程におけるチャム人と発展の特徴	209
1)	ベトナムに居住するチャム人の概要	209
2)	チャム人の東南部への移動過程	210
3)	東南部におけるチャム・コミュニティの統合と発展過程の際立った特徴	215
	監訳者あとがき	225
	[参考] ベトナムの地方行政区画	227